

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策 補正予算（第2弾）



新型コロナウイルス感染症対策として「医療」「生活」「経済」の3つの柱からなる、第2弾の補正予算を編成します。

一般会計	102億円
特別会計	10億円
合計	112億円

withコロナ時代における感染再拡大への備えと市民生活・経済活動の両立 **3つの柱**

1 医療

感染症の再拡大を想定し、検査・医療提供体制の確保・強化に取り組みます。

検査体制の強化



- ウォークスルー方式や民間機関と連携したPCR検査体制の強化
- PCR検査の検体採取・搬送の自動化や見守りケアロボットシステムなど、民間による新たな技術開発への支援
- 院内感染防止と重症化予防のため、救急患者や手術・分娩などで医師が必要と判断した患者への積極的検査の実施

医療提供体制の 安定的確保



- 重症患者などを受け入れるため、中央市民病院に臨時病棟を整備
- 入院診療を行う市内医療機関での院内感染防止対策の実施
- 二次救急輪番病院で、感染の疑いのある患者を受け入れる体制の確保



2 生活

3密回避などの行動変容を継続しながら、生活の支援と新しい生活様式への対応を進めます。

生活困窮に陥らないための セーフティネット機能の充実

- 児童扶養手当を受給するひとり親世帯などに5万円を給付（第2子以降3万円ずつ加算）
※新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が大幅に減少する世帯には、追加で5万円を給付
- 市立大学・高専の授業料・入学金の減免を拡充（対象となる年収を約380万円以下から約500万円以下へ拡大）



子どもたちの健やかな成長への 支援と新しい生活様式への対応

- 感染流行時、公共交通機関で移動が困難な妊婦のタクシー利用料を助成（1万円/人）
- 全小中学校などに1人1台ノートパソコンなどを配備
- 臨時休校により影響を受ける子どもたちの学習を支えるため、全小中学校に学習指導員と、スクール・サポート・スタッフを追加配置



熱中症対策

- 区役所・支所など100カ所程度にウォーターサーバーを設置
- 全小中学校にスポットクーラーを配備



3 経済

感染症の再拡大防止に、最大限に配慮しながら、経済活動などの維持・回復を支援します。

神戸経済の維持・回復

- オンラインストアへの新規出店を支援（出店料の1/2補助など）
- 中小企業などの新たな取り組みを支援する「チャレンジ支援補助金※」の予算枠拡大
※専用コールセンター（☎891-3906
✉support_challenge@kobe.graffer.jp）



文化・スポーツの 新たな取り組み



- アーティストやライブハウスなどが行う、野外イベントなど新たな取り組みにかかる経費を補助（最大10万円/人、最大75万円/施設）
- 芸術文化公演などを行う場合の施設使用料を補助（最大50万円/日・施設、補助率1/2）
- 神出山田自転車道でのシェアサイクル事業の実施



※補正予算についての詳細は [神戸市 予算 | 検索](#)

※補正予算案は市会で審議中です

[問] 市総合コールセンター（☎333-3330 ㊟ 333-3314）